



MINATO TOKYO

# Bulletin

みなと  
ユネスコ

MINATO UNESCO ASSOCIATION NEWS & CALENDAR

ISSUED BY/MINATO UNESCO ASSN. 16-3.SHIMBASHI 3-CHOME MINATO-KU TOKYO 105-0004/KIMITADA MIWA PRES.  
発行所/港ユネスコ協会 〒105-0004 東京都港区新橋3-16-3 TEL・FAX 03 (3434) 2233 発行人/三輪公忠

2009年9月1日発行 第117号

## 目次

P1 巻頭言	P8 2009年度「新入会員を囲む会」
P2 日本文化紹介シリーズ「能」	P8 第12回 MUA サロン「お香を聞いてみませんか？」
P3 トピック：港ユネスコ協会ウェブサイト完成	P9 ユース活動委員会「浴衣着付け教室」
P4 国際理解講演会「トルコ共和国の歴史と文化」	P10 事務局便り
P7 世界の味文化紹介「南インドの家庭料理」	

## 日本人の年齢 - 18歳で「成人」？

港ユネスコ協会会長 三輪公忠

新聞学では、まず犬が人を噛んでもニュースにはならない。人が犬を噛めばニュースになると説く。フィーチャー・ライティングの開口一番に大宅壮一講師は「日本人12歳論」について書けといった。手本は『朝日』の天声人語だ、といった。

それは日本の敗戦とともに始まった連合国による占領統治六年目の1951年、あと一年で独立を回復できるという年に占領軍司令長官アメリカ人マッカーサー元帥が言った言葉である。思ったとおりにアメリカ文明が根付かない現状にいらだつてのことだったのではないか。自由主義に責任感が伴わず、民主主義とは名ばかりで、民衆はお上任せか、共産主義になびきそうで。

あれから半世紀以上もたった今日、いったい日本人の国民的年齢はいくつなのか。マスメディアが日本人の男は36歳で初めて精神的に成人するといったことがある。マッカーサーの診断の3倍、年齢を重ねてようよう成人するというのだ。精神年齢、社会的に責任ある人格となるまでの時間である。女性についても同じことが言えるということだろう。

日本でアメリカ流の新聞学を創始した当時東京大学の新聞学研所長だった小野秀雄教授のニュース・ヴァリュー論にしたがえば、日本人12歳論は、人が犬を噛んだのとどっこいどっこいということだ。

その日本に突如新風が吹いた。成人年齢を18歳にするというのだ。法制審議会の学識経験者が政府の諮問に応じた報告である。凶悪犯罪を少年院送りにする理不尽に配慮している。肉体的には優に戦前の壮丁を凌駕している場合が目立ってきていた。しかし自己判断で契約ができるから悪徳業者からどうやって守るのか心配だという。結婚年齢を18歳とするにしても、喫煙飲酒をどうするかとか、いろいろ問題が残るといふ。

やはり日本人は国民的には未熟なのだろうか。

敗戦の痛手に学んだ元年少少女、現代のご意見番大人たちは、戦争は二度としてはいけないという。しかし世界の端々で、戦争はやむことが無い。中東のニュースで、人々が無残に殺されていくのを見ている小学生に、何でその悪い戦争をやめさせることができないの、と訊かれて、果たして日本人の大人で子供が納得できる答えを語り聞かせることができる者がどれだけいるだろうか。第一、語り始めて、自分自身が納得できないでいることに気付くだろう。「平和」の念仏だけで、「平和」はこない。

18歳で新たに成人の特権と共に責任を負うことになる、今年少少女の若者たちにその答えを聞いてみたい。

(2009・8・1)



第 22 回日本文化紹介シリーズ「能」

## 梅若猶彦による「能とその現代性への探究」

日時：2009年5月29日(土)18:30~20:30

会場：港区立麻布区民センター・ホール

今回のテーマは「夢」。

松本洋副会長の挨拶から始まった。

第一部は「能とその現代性」ー解説と実演ー

解説は、松本、梅若猶彦両氏のトークで進められた。松本副会長からの、今日演じられる伝統能と現代劇についての問いに、梅若氏は共通のテーマが「夢」であると答えられた。

この後の能「邯鄲 (かんたん)」は、中国の唐の時代の話で、邯鄲の夢、一炊の夢として知られている。

「盧生という若者が立身を志して旅にでる。邯鄲の宿で仙人に会い、志を述べると、仙人は一つの枕を貸してくれる。これで眠れば思いのままの栄華を得られるという。宿の主人は飯を炊きかけていた。盧生が眠りにつくと、たちまち金持ちとなり、家族を持ち、王侯となり、80を超えて病気で死んだ。目が覚めると、さっき炊きかけていた飯はまだ煮あがっていなかった。これで盧生は人生の栄華のはかなさを悟る。」



実演では、この中の王侯となって舞う場面を、笛と太鼓の盤渉楽<sup>ばんじやうがく</sup>で演じられた。梅若氏は、能舞台ではない簡素なホールの空間を、一瞬にして古典の世界に変え、伝統芸の「型」の持つ力強さで観客を引きつけた。



第二部は、現代劇「イタリアンレストラン」(作/演出：梅若猶彦)

「自らの存在が境界線となった人物の話」である。

背広姿に仮面をつけた男(梅若)が、日常生活と虚構の世界を行き来し、ついにはその区別がつかなくなっていく。

舞台はイタリアンレストラン、手前にベッドがある。ベッドに寝ていた仮面の男が起きだしてレストランへ行く。そこでおこることが、時に日常のことであり、あるいは夢幻のことでもある。

能の舞台の使い方、例えば舞台を一回りすると他の場所に居ることになるなど、能の演出の面白さを残し、せりふも謡の発声と今の言葉使いが入り混じる。レストランの客には



侍がいたり、若い現代の女性がいる（この女性が現実と虚構の境界線の役割をしているのだろうか）。しだいに観客までもが、なんだかわけのわからない世界に迷い込んでしまう。

チラシの解説で梅若氏は「今まで男は能楽師として様式美の完成に全身全霊を傾けてきた（と言うと聞こえは良いのだが・・・）。ある時からその様式が男の日常生活をも蹂躪し始めることになる・・・」と述べている。伝統芸能の「型」の中にある苦

悩、そこから発展して新しい芸術性を求めていく苦悩。この作品を梅若氏自身に重ね合わせて見てしまったのは少し深読みであったか。



ここに、当日の観客のお一人であったルクセンブルク大使夫人から梅若夫人に送られたメールを掲載させていただく（梅若氏から協会事務局に転送されたもの）。

Thank you. I loved watching your husband. He is an amazing actor. And I got the gist of it. Thank you for inviting me. The play was more difficult. But I enjoyed it. Radhika

（学術文化委員会委員長 磯部豊子）

□■□トピック□■□

## 港ユネスコ協会ウェブサイトのリニューアル、完成!!

<http://minato-unesco.jp/>

港ユネスコ協会ウェブサイト（インターネットのホームページを、このように呼称させていただいています）のリニューアルにつきましては、昨年7月から、広報プレティン・インターネット委員会と事務局有志による「MUAウェブサイトリニューアル特別会合」が、イメージや内容につきまして、鋭意検討を重ねてまいりました。

その結果、まったく新しいコンセプトで、素晴らしいサイトの枠組みが完成いたしました。内容の充実度はまだまだですが、これから会員の皆様のご意見も踏まえながら、ますます魅力あるサイトにしたいと思っています。

どうか一度アクセスしていただき、ご意見やご感想を寄せいただきますよう、よろしくお願いいたします！

（広報プレティン・インターネット委員会 常任理事 島田和美）



# 魅惑の国 トルコ共和国の 歴史と文化

日時 2009年7月30日(木) 午後6時30分～8時40分

会場 港区立生涯学習センター305号室



## 講師 メヘタツプ スルタン ギムシャイさん

在日トルコ商工会議所会頭、スルタンコレクションの宝飾デザイナー

トルコ対外経済委員会 (DEIK) 委員 / トルコ日本経済委員会委員

「トルコにおける日本年」文化芸術コミュニケーション委員会委員

1967年イスタンブールにて、旧オスマン帝国皇族の家に生まれ、日本、フランス、イギリスで学生生活を送る。1986年来日以来、プランナー、宝飾デザイナーとして活躍中。夫君と15歳と14歳の子どもさんと横浜に在住。

トルコ政府制作の映像を見せていただいた後、講演が始まりました。

講師は流暢で切れ味のいい日本語を駆使して話されました。以下に、講演の要約をご紹介します。

トルコはヨーロッパとアジアをつなぐ橋のような役割を果たす国です。面積は78平方キロメートルで、日本の2.2倍あります。3方を海、つまり北は黒海、マルマラ海を挟んでエーゲ海・地中海に囲まれ、広大な高原や高い山があるなど、素晴らしい自然に恵まれた国の一つです。周りには、ギリシャ、ブルガリア、グルジア、アルメニア、イラン、イラク、シリアがあり、黒海を隔てた北にはロシア、地中海を隔ててエジプトなどがあります。このような地理的關係によって、これまで、いろいろな民族による、いろいろな文明・文化が栄え、重なり合って、国内各地にその遺跡を残しています。

**文明・文化の流れ** どの地域を中心に栄えたかを順を追ってご紹介します。

- \*紀元前8000年の**新石器時代**に地中海沿岸に人が住み始めました。紀元前5500年頃の村落の遺跡が地中海から少しアナトリア（トルコのアジア側）地方に入った所にあります。
- \***土器時代**がトルコの各地で発達しました。
- \*紀元前3000年頃からの**青銅器時代**はトルコの2/3にあたる地域で発達しています。
- \***アッシリア時代**はアナトリア地方中心です。
- \***ヒッタイト時代**。ヒッタイトは紀元前2000年頃黒海を渡ってトルコの中央部分と、地中海から黒海に近い所に移住してきました。鉄器と優れた騎馬技術で大帝国を築きました。
- \*紀元前9～6世紀は**ウラルトゥ王国時代**。これは東トルコ地方が中心です。
- \*紀元前8世紀から、**古代ギリシャ文明**、**ミケーネ文化**がエーゲ海沿岸で発達しました。
- \*紀元前750年頃ヒッタイトを滅ぼした海洋民族の1派が**フリュギア王国時代**を西アナトリア地方で建てます。
- \*紀元前6世紀**アケメネス朝ペルシャ**が支配しました。
- \*紀元前4世紀頃**マケドニア王国のアレキサンダー大王**に征服されました。
- \*アレキサンダー大王死後、**セレウコス朝シリア**、**ペルガモン王国**などが支配。
- \*紀元前2世紀に**ローマ帝国の属国**となります。
- \*紀元330年ローマ帝国の**コンスタンティヌス帝**が、**コンスタンティノープル(現イスタンブール)**に遷都します。
- \*紀元395年ローマ帝国は東西に分裂し、**東ローマ帝国**の首都として**ビザンティン文化**が繁栄します。
- \*1077年**セルジューク朝**（中央アジアに興ったイスラムのトルコ系王朝）が東ローマ帝国を破って誕生しました。
- \*1299年**オスマン朝**成立（首都：イスタンブール）。16世紀のスレイマン1世の時代に最盛期を迎えます。領土は東欧から北アフリカや西アジアにまたがる広大なものとなり、ウィーンの包囲はヨーロッパ・キリスト教世界を震撼させました。18世紀初頭には西欧諸国との間で良好な関係が形成されました。19世紀末からエジプト、ギリシャ、ブルガリアなどが独立し、第1次世界大戦ではドイツ側について敗戦国となりました。



\*1923年トルコ共和国成立。オスマン朝末期の国内の混乱のなか、ムスタファ・ケマルがトルコ革命と呼ばれる祖国回復運動を行い、列強による分割・植民地化の危機からトルコを救いました。初代大統領となり、政教分離、ラテン文字の採用、教育制度、女性参政権など、大改革を行い、近代化を進めました。

トルコ語は、難しいアラビア文字の表記からラテン文字による表記に切り替わりました。学生時代に日本に来た時、初めて「トルコ語は日本語と同じアルタイ語族に属すること」に気がきました。語順などが同じです。

ケマルはアタチュルク（トルコの父）と呼ばれ、現在もすべての国民からたいへん敬愛されています。共和国になって以来まだ86年しか経っていませんが、人口は当時の1200万人から現在の7000万人に増えるなど、各分野において大発展を続けています。

いろいろな時代や文明・文化を経ています。特に大きな影響を与えたのは、ヒッタイト帝国、ギリシャ文化、ローマ文化、ビザンティン文化、オスマン帝国だと言えます。

### 経済関連について

- \*現在、人口7000万人の50%以上が28才以下という大変若い人が多い国です。このことは労働力があり、また中長期に購買力を持つ消費者が出現するという、ダイナミックな力を秘めています。また、トルコ人は手先が器用であり、その上、EU諸国に比べて賃金が安いので、EU諸国が工場を設置するにはとても魅力的です。
- \*輸出輸入ともに工業製品のウエイトが大きく、相手先はヨーロッパが主力です。例えば、トルコ製のテレビはヨーロッパの40%、冷蔵庫は30%のマーケット・シェアを持っています。
- \*自動車産業は大きなシェアを占め始め、外資系自動車生産の伸びが期待されています。生産された自動車は、国内販売だけでなく、外国に輸出されています。日本のトヨタ、ホンダ、イズムも生産工場をおいています。
- \*ヨーロッパの鉄道や高速道路網はトルコに通じており、アジアの鉄道や道路も同様です。文字通り両大陸のかけ橋となっています。
- \*カスピ海からトルコの地中海沿岸東部のジェイハン港へと石油を送るBTCパイプライン（アゼルバイジャンの首都のバクー・グルジアの首都トビリシ・トルコのジェイリン）は世界第2の規模です。また、バクー・トビリシ・エルズルト（BTE）天然ガスパイプもBTCパイプラインと平行して走っています。トルコで精製してヨーロッパへ輸出します。現在ヨーロッパの25%はトルコを経由して供給されており、現在建設中のパイプが完成すれば40%がトルコ経由となる予定です。
- \*金融関連やIT関連部門は毎日のように大きくなっています。ヨーロッパの大銀行はトルコの銀行に関心を高めています。
- \*トルコ経済は1970年頃から30年間インフレに苦しんできましたが、現在では、インフレを克服した国として注目されています。中央銀行の政策変更によって、2001年消費者物価は70%のインフレだったのが、2002年には29%、2003年には18%、2004年は9.3%と落ち着き、それが続いています。昨年からの世界的危機の影響を受けましたが、危機がおさまればまた順調に進むだろうと思っています。
- \*イスタンブールの株式市場。2008年の中央銀行のデータによると、大企業1,500社の約20%の318社が上場されており、顧客の70%は海外からの投資家です。2001年のインデックスは13,000でしたが、2007年には55,000となっており、6年間で400%の利益を得た投資家もいると聞いています。
- \*大型ショッピングはイスタンブールに30店舗以上あり、1ショッピングモールには100以上の店が入っているような大規模なもので、日本にない形です。
- \*TICAという日本のJICAと同じようなプロジェクトを行う国際協力・開発を行う組織があり、全世界に22の事務所を持っています。アフガニスタンへの援助も軍隊の応援を得て行っています。

### 来年は日本とトルコの友好関係120年です。



これは1890年9月オスマン帝国の軍艦エルトゥールル号が和歌山県串本沖で、台風によって遭難した事件から数えて来年が120年になることに因ります。親善使節団（団長：オスマン海軍少将）が横浜に入港し、明治天皇に謁見し、3か月後帰途についたのですが、折からの台風で岩礁に激突、爆発して沈没しました。団長以下581名が亡くなり、生存者は69名という大海難事故となりました。地元の人々が不眠不休で救助、介護にあたり、また遭難者の遺体引き揚げを行いました。69名は神戸で篤い治療を受けた後、軍艦2隻におくられてイスタンブールに帰国しました。その後串本には慰霊碑が建ち、今も地域の人々に守られています。この話は小学校の教科書で紹介され、子ども達の日本びい

きのもとになっています。

さて、約 100 年後の 1985 年、イラン・イラク戦争の時のことです。時の独裁者フセインが「40 時間後にイラン上空を飛ぶ飛行を全て撃ち落とす」と宣言したので、40 時間内にイランを脱出しなければならなくなりました。が、日本は直行便がないため、駐在中の 215 名の日本人はあわや戦火の中に残されようとなりました。その時、「串本の人々への恩返し」としてトルコ政府が特別機を用意して日本人を救出したことはご存知でしょう。

昨年 2008 年 6 月、ギョル大統領が訪日された折、トルコからの 150 名とともにチャーター機で串本を訪れ慰霊碑に献花されました。来年は両国で、いろいろな友好事業が予定されています。

トルコのことであまり知られていないことをご紹介します。

- \* 共和国成立以来、女性の権利が確立され、高等教育を受けた女性が特に都市において、社会、政治、経済生活における重要な役割を果たしています。
- \* 旧約聖書に出てくるノアの箱舟が、大洪水が引いた後着いたのは東部アナトリアにあるアララト山です。
- \* トルコは水の輸出国です。石油と交換の形で輸出しています。
- \* よくご存知の食べ物のお産地です。さくらんぼ、いちじく、あんず、アーモンド、ヘーゼルナッツ、チーズ、ヨーグルト、小麦など。さくらんぼは、オスマン帝国から山形県へ贈られました。
- \* チューリップのお産地です。1500 年代に球根がウィーンに持ち込まれ、英国やオランダで人気を呼びました。
- \* イスタンブールの地下鉄はヨーロッパで一番古いものです。
- \* アガサ・クリスティの小説で有名になった「オリエン特急」の終着駅はイスタンブールのスィルケジ駅。彼女が滞在したホテル「ペラ・パラス」は今も人気が高く、有名人がよく泊まります。
- \* サンタクロースはトルコから生まれました。3~4 世紀にキリスト教の教会のニコラス神父が貧しい子どもたちに贈り物をしたことに因ります。しかし、1950 年代にアメリカのコカコーラが今の北欧のサンタクロースのスタイルを作り出し、今ではすっかり定着しています。
- \* ボスポラス海峡に架かる第 2 番ボスポラス橋は鹿島建設によって建設されました。また、海峡の下を通る地下トンネルは大成建設によって建設中です。
- \* 農産物では、スパゲッティやパスタ、オリーブ、オリーブ油、たばこ、ヘーゼルナッツ、トマト製品、香水の原料などを輸出しています。



## 質疑応答

Q 宝飾やトルコ石について

A トルコ石はトルコでは出土していません。エジプトで採れたものをトルコの商人によってヨーロッパに運ばれたことから、トルコ石と呼ばれるようになりました。宝飾類の細工、加工技術がたいへん優れています。

Q 民族や宗教について

A 人口 7000 万人の内、トルコ人が 6000 万人で、他のいろいろな民族の人々が 1000 万人です。

国民の 99%がイスラム教を信仰し、大半はスンナ派といわれています。政教分離政策をとっています。例えば、大学を出るまで学校でスカーフを被ることは禁じられています。

Q EU への加盟について

A 加盟申請をしています。現在のトルコの経済状態は東欧諸国などよりずっと良好なので、加盟のメリットもあるが、デメリットもあると思っています。NATO には 1952 年に加盟しています。

以上



ユネスコ登録の世界遺産は 9 件です。しかし国の至る所に、先史時代以来いろいろな民族による、多様な文明や文化が幾層にも織りなした歴史的遺産が存在し、変化に富んだ地形と気候が生み出した自然遺産が一杯です。この国全体が世界遺産といえましょう。お話を伺いながら、島国・日本との違いを改めて感じました。

講師の活力あふれるご活躍ぶり、お話振りを通して、現在の元気なトルコの様子が伝わってきました。

ご一緒にご出席して下さったご主人とお子様にも、お礼申し上げます。

(国際理解講座委員会担当副会長 高井光子)

## 「南インドの家庭料理」

日時：2009年7月4日(土)12:00~15:30

会場：港区立男女平等参画センター料理室

### 講師

ラディカ・ハリさん  
(江戸川インド人会会員)

### メニュー

・ナスのドライカレー  
・夏野菜の汁カレー

### ・トマトのチャツネ

・人参のキール  
・チャイ

日本でも人気のあるインド料理。その中でも今回は南インドの家庭料理を教えてくださいました。講師は、南インド地方・タミール出身のラディカ・ハリさんです。既婚の女性が毎日着るといって美しいブルーのチュニックを着ていらっしゃいました。ラディカさんのご家庭はインドのカースト制度ではバラモンに属し、肉や魚や卵を食べないベジタリアンの家系でいらっしゃいます。バラモンはもともと神に仕える人々で、ベジタリアンであるべきだそうですが、最近では仕事も文化も変わってきているので食の垣根はなくなってきているようです。



今回は、野菜をふんだんに使ったカレー2種に、ディップのようなチャツネ、デザートのような甘いキール、バスマティライス、そして日本でもおなじみのマサラチャイを作りました。インド料理はなんといってもスパイスが重要！それぞれの料理にスパイスの種類がとても多く、初めて見るスパイスも多々ありました。



作り方としては、数種のスパイスを炒めミキサーにかけて、具材とともに煮込むという方法が多かったように思います。南インドではココナッツがよく使われるそうです。「サンバルパウダー」というスパイスも北と南では違うのですよ、とわざわざ南インドのものをラディカさん自らご用意してくださいました。また、野菜の皮は剥かずに細かく刻んだり、ミキサーに残ったスパイスをきちんと取って使用したりとエコの精神が感じられました。

出来上がった料理は全員ひとりずつバナナの葉をお皿にして美しく盛り付けました。バナナの葉は防腐効果があり、現代のインドでは結婚式などのお祝い事で使用するそうです。

参加者からは「皮やアクをとらずに料理するのは日本と違って興味深い」や「どれもスパシーだが全体として味の取り合わせがいい」などのご意見をいただきました。右手を使ってカレーを食べるテーブルがあったり、スパイスや南インドの料理についてラディカさんに質問が飛んだり皆さん楽しんでくださっていたように思います。準備段階では多種にわたるスパイスを手配くださり、当日は流暢な日本語でインドの文化と料理をご説明くださったラディカさんには心から感謝いたします。

料理委員会では、今後も色々な国の文化と料理をご紹介しますのでご期待ください。  
(世界の料理委員会 山澤 絵海)

## 2009 年度「新入会員を囲む会」

日時：2009年6月12日(金)18:30～

会場：港区立生涯学習センター305号室

会員開発委員会は、今年も「新入会員を囲む会」を催しました。参加者は、この1年間に当協会に入会された10名の新入会員と25名の従来からの会員の合計35名でした。



第一部のオリエンテーションは、中川副会長の司会、三輪会長の挨拶で始まりました。会長からは、港ユネスコ協会の歴史、当協会の活動とその価値、今年の国際シンポジウムの構想などをお話いただき、新入会員をお迎えいただきました。引き続き、司会者から、新入会員をひとりひとり、入会のきっかけとともに紹介されました。また、高井副会長から、ユネスコとその活動、当協会の設立から今日までの活動概要をお話ししていただきました。

各委員会の紹介では、七つの委員会の常任理事あるいは委員長が、それぞれ熱心に勧誘の弁を振るいました。新入会員のみなさんに各委員会の熱き思いが伝わったことと思います。

7時40分から第二部の懇親会が行われました。会員開発委員会の秋山委員長と三好副委員長が司会を務め、清水副会長奏でるアコーディオン演奏がBGMとなって、会員心づくしの軽食や手作りデザート、飲み物が用意されました。松本副会長の音頭で乾杯してから、和やかな雰囲気での懇親パーティとなりました。

新入会員から始まった出席者全員の自己紹介の間中、清水さんがその人に相応しい演奏をしてくださったので、みなさんリラックスしてお話しができたのではないのでしょうか。

最後は、用意された歌詞カードの中から数曲、アコーディオン伴奏で全員で合唱し、9時に閉会となりました。

高井副会長が自己紹介の中で、自分が長い間協会の活動に参加してこられたのは、みんなとの出会いやつながり、活動を通じての人との関わりがあったからと、お話しされましたように、新入会員のみなさんにも委員会を通しての活動に参加していただきたいと思います。そして、新しい感覚やアイデアなど、みなさんがお持ちのものを遠慮なく出していただいて、当協会の活動に活力を与えてくださることを願っています。



多数の会員にご参加、ご協力いただき、無事終了しましたこと、感謝申し上げます。  
ありがとうございました。

(会員開発委員会副委員長 成瀬成子)



### 第12回 MUA サロン

## 「お香を聞いてみませんか？」

日時：2009年7月7日(火)18:00～21:00

会場：港ユネスコ協会事務局

第12回目のMUAサロンは、先生として笠原正子さんによるお香を聞く会でした。七夕の夜の3時間、参加した11名が楽しく有意義な時間を過ごさせていただきました。

はじめに香道の説明があり、空気を清浄させる、香りで五感を清めるなどの話がありました。続いて、お香の道具の説明があり、私たちも道具の準備などに参加させていただき、初めての体験をしました。香箸、香木、銀葉、銀葉ばさみ、重香合、聞香炉、灰押し等々の、道具も言葉も私には新鮮そのものでした。沈香と白檀の二つのお香を聞きました。後に先生が「はじめの方はきつくない香りのお香だったのよ」と話しておられ、私の五感が当たったので少し嬉しかったです。

七夕の晩だったこともあり懐石料理の一種とのことでおむすびと、干菓子の「流水」と「結び笹」をいただいた後、抹茶のお薄を一服ずついただきました。先生のおもてなしの心がここにも見られました。姉妹弟子の大高さんの応援もあり感謝です。沢山の茶器を拝見する時間があまりなく少し心残り。好きでなければあれだけの数、量の道具は運べない…などと思えました。

先生は藍色の浴衣にあやめ結びの帯、下駄をカタコト鳴らしており、粋な姿でした。幸せなひとときをありがとうございました。



(会員開発委員会 井口フミ子)



ユース活動委員会

## 浴衣着付け教室

日時：2009年6月27日(土)13:00~16:00

会場：港区立生涯学習センター2F 和室

季節のイベントとして急遽、会員の平方一代さんが中心になり実現した企画です。当日は、会員の原口早苗さんを先生として、着付けのアシスタントが4名、参加者は一般の方が6名、会員の方が4名、以上総勢15名の浴衣着付け教室となりました。

自分で簡単に浴衣が着られるようにと、前で結んだ帯をグルッと回すと後で素敵な形ができるコツを先生から皆さんにご教授いただきました。原口さんの的確なご指導のお陰で、何回か練習すると誰でもすぐに着られるようになりました。



参加者はそれぞれ自分の好みの形を作って、ひとりずつ写真に納まっていました。また、みんな口々に、この夏はひとりで着る浴衣で花火大会や盆踊りに行って、気軽におしゃれを楽しみたいと言っていました。

この日の締めくくりは、やはり会員の笠原正子さんが点ててくださった美味しいお抹茶と和菓子を頂戴しながらの参加者の自己紹介で、和気あいあいのうちに時間となりました。

蒸し暑い中、親切にご指導くださった原口さん、それに参加してくださった皆さん、どうもありがとうございました。  
(港ユネスコ協会会員、着付けアシスタント 山田陽子)

# 事務局便り

【新入会員】《個人会員》李起旭さん、緒方静子さん、佐野幸子さん、佐藤和子さん(入会順)

【これからの事業予定】(詳細は別途チラシやホームページでご案内いたします)

- ☆9月27日(日) 日帰りバスツアー(行先 白洲次郎の武相荘、江戸東京たてもの園)
- ☆10月6日(火) 18:30～ 第28回国際シンポジウム「若者が築く未来」(会場 麻布区民センター)
- ☆10月10日(土)～11日(日) 「みなと区民まつり」への参加(会場 港区芝公園一帯)
- ☆11月 大使館訪問(日程などの詳細は未定です)
- ☆11月26日(木) 18:30～ 国際理解講演会「日本の中東外交の裏側」(会場 生涯学習センター)
- ☆11月28日(土) 12:00～ アルメニアのクリスマス料理(会場 男女平等参画センター)

## ～ご寄付ありがとうございました～

- ユネスコ世界寺子屋運動へ: 日本文化紹介「能」の会場で 28,970円(2009.05.29)
- ユネスコ世界寺子屋運動へ: 青少年国際教育促進協会様 109,688円(2009.06.03)
- 当協会の事務局へ: 佐藤美子様 留守番電話機 一式(2009.07.01)
- 当協会の平和基金へ: 港区テニス連盟様 90,000円(2009.07.16)
- ユネスコ世界寺子屋運動へ: 国際理解講演会(トルコ)の会場で 3,000円(2009.07.30)

## 「岩手県の矢巾北中学校と都立三田高校の生徒さんの事務局訪問がありました。」

- \* 4月9日(水)の午後、修学旅行で上京中の岩手県矢巾北中学校の生徒さん総勢15名が事務局を訪問してくれました。ユネスコとはなんぞや?から始まって、世界遺産のこと、世界寺子屋運動のことなど、いろいろな質問ができました。後日15名全員からお礼の文をいただきましたが、嬉しかったことは、殆ど全員が寺子屋運動に強い関心を持ってくれたことでした。
- \* 7月28日(火)の午後、都立三田高校の国際部の生徒さん6名と先生の計7名の事務局訪問を受けました。高校生ということでユネスコの歴史から始まって港ユネスコ協会の活動にいたるまで幅広く説明を行い、読み出がある資料をお渡ししました。生徒のみなさんは、これからユネスコについてさらに勉強し、秋の文化祭でまとめて発表するのだそうです。頑張ってください。

(事務局 水野隆、立花良子、笠原正子)

港 ユ ネ ス コ 協 会 事 務 局 ( 火 ～ 金 1 0 : 3 0 ～ 1 8 : 0 0 )

〒105-0004 東京都港区新橋 3-16-3 TEL 03(3434)2300 FAX 03(3434)2233

電子メール: minato-unesco@nifty.com ウェブサイト: <http://minato-unesco.jp/>

### ■編 | 集 | 後 | 記■

◇職場や知り合いのお子さんが夏に新型インフルエンザにかかったとの事。ほんとに人事ではなくなってきました。(遠藤れいこ) ◇初めて編集委員会に参加しました。盛りだくさんの討議項目でしたが、和気藹々の雰囲気の中、お弁当として用意して下さったおにぎりを頬張りながらの、楽しい委員会でした。(須田康司) ◇「あの戦争」の終戦から64年目の8月。犠牲者は、日本人約310万人、アジア・太平洋で1千万人、全世界では数千万人だという。その一人ひとりに人生があり、愛する家族がいた。決して「数の恐怖」だけでは表わせない。(高井光子) ◇俳優リチャード・ギアが忠犬ハチ公の物語に感動して制作を決心し、自ら主演した映画「HACHI 約束の犬」を見てきました。飼い主とペットのきずなという平凡なテーマですが、心温まるタッチの米国版に仕上がっていました。(棚橋征一) ◇最近タイ料理にはまっています。(中前由紀) ◇今年の夏は天気が不順でした。海の中も異変が起きているようです。龍宮城を覗いてみても、ヒラメさんの姿は見えますが、タイさんが余り見られません。秋になれば拝めるかも…。(水野隆) ◇いよいよ秋ですね～体調管理と防災対策は、くれぐれも万全に!(島田和美)